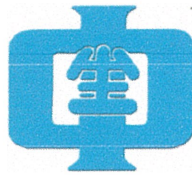


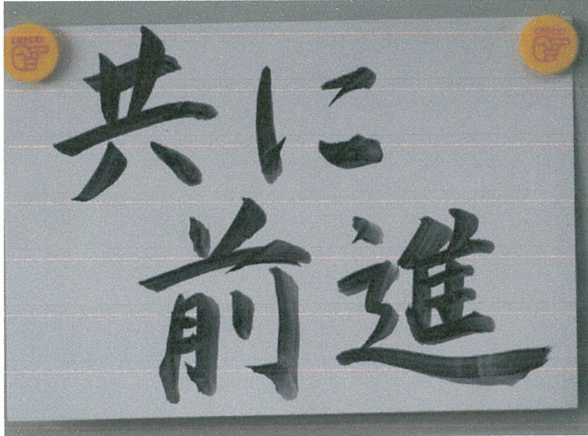
長 坂



平戸市立生月中学校
学校だより第31号
(令和2年 1月)

文責 西澤 庄藏

3学期が始まり、2週間が経過しました。ほんの一端ですが、年頭の思いから。



今学期は、「共に前進」をキーワードに、集会での講話を重ねていく所存です。

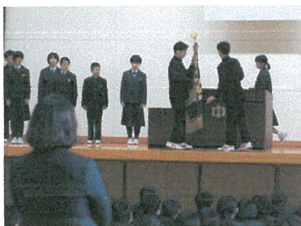
3学期のスタートに当たり、01/08(水)始業式での式辞に、3学期に臨む思いを伝えしました。以下は式辞の要約からです。

生徒の皆さんたちも、私も含めた先生たちも、との思いを込めて「共に前進」です。3学期は50日前後の少ない授業日数だからこそ、一日一日を大切に、一人ではできないことも、仲間と「共に」、学び合い、思い合い、鍛え合いの精神で努力し、少しでも成果を残すよう「前進」してほしいと願っています。

あと、「笑顔」でいたいですね。私自身も意識して自覚したい言葉です。一年365日毎日「笑顔」を絶やさない人はいないと思います。ときに悲しい気持ちになるなど、喜怒哀楽の感情の起伏があるのが人間の常ですが、そのことで年頭に立てた目標が途絶えては本末転倒です。どんな状況でも心の中に「笑顔」をイメージして前向きに学校生活を楽しんでほしいと思います。

新年を迎え、生徒会役員も新旧交代となりました。

生徒会役員改選を受けて、12/24(火)に任命式、01/08(水)に引継式が行われました。



写真は、生徒会役員引継式の様子です。

旧・役員退任あいさつ後、校旗の引き継ぎ、新・専門委員長への委嘱状の交付、新・役員紹介が行われました。

旧・生徒会役員は、ボランティア活動など、新境地を開く活躍がありました。その先導的な活動に感謝の念で一杯です。おつかれさまでした。

そして、新・生徒会専門・中央委員会も本格始動しました。

01/15(水)生徒集会が実施され、生徒会専門・中央委員会報告がありました。生徒会役員として本格的に表舞台に立った第一歩となりました。緊張した面持ちもありましたが、堂々とした立ち居振る舞いでした。現3年生から良き伝統が受け継がれているものと再認識したひとときでした。



【新・本部役員】

○会長 福川 真也 (2-1)
○副会長 永田あかり (2-1)
○書記 田中 咲智 (1-2)
○書記 田中 亜実 (1-2)

【新・専門委員長】

○学習・図書 藤田 亜耶 (2-1)
○環境 松山 桃花 (2-1)
○給食 田中 直継 (2-1)
○生活・保体 井元 浩輔 (2-1)
○文化 村川 詩織 (2-1)

【敬称略】